

# 『空き家・空き地』の 情報提供をお願いします

大山町では県外、町外、町内を問わず、住居を求めておられる方々に、町に登録いただいた「空き家・空き地」の情報提供を行い、大山町への定住の促進と空き家の利活用を図っています。

しかし、「空き家・空き地」の情報を求めておられる方の数に比べて、利用できる「空き家・空き地」の数はかなり少ない状況にあります。（66人の空き家・空き地利用登録者が情報の提供を待っています。平成26年12月1日現在）

現在、役場企画情報課の「移住相談員」と、コミュニティ・スペース『まぶや』（大山町上市）内に設置した「大山町移住交流サテライトセンター」の「移住アドバイザー」を窓口として、「空き家・空き地」の掘り起こし、移住希望者への相談などの業務を行っているところです。

地域の活力を向上させるためにも、「移住相談員」や「移住アドバイザー」に集落の資源である「空き家・空き地」の情報提供をお願いします。

## 本町の「移住相談員」と 「移住アドバイザー」を 紹介します

### ◆問い合わせ先

- 企画情報課 ☎0859-54-5202
- 大山町移住交流サテライトセンター  
(金・土・日の13:00~17:00)  
☎050-5205-5390



大山町の人口は減少しつつ、「空き家」は増加傾向にあります。

魅力ある大山町にするためにも、「空き家の情報提供を私にお願いします。(原)

「移住したいけど、住む場所が見つからない」こんな人がたくさんいます。貸し手と借り手、どちらも喜んでもらえるように皆で協力します。何より人に住んでもらったほうが、家が喜びます。“家が空いているんだけど…”困ったことも含めてご相談ください。(樽井)



このままの状態では、2030年（15年後）の大山町の15歳から65歳までの人口は5,000人までに減少すると言われています。皆さんと、より豊かな大山町を築いていける移住者を受け入れていきますので、空き家がありましたら、まずは情報をお願いします。(中村)



「大山が見える場所で子育てを」と思う子育て世代の方が、増えてきていると感じています。私も大山町でのびのびと子育てができて幸せです。大山町にとって、良い方を受け入れていきたいと思っています。(西本)

